



フィリップス社製 Azurion7 B 12/12

アンギオ(心・血管造影)装置を更新しました。新装置の特徴は高精細・低被曝・低侵襲です。

技術の進歩にともなって、放射線量は抑えつつも画像はクリアになり、診断精度が向上しました。さらに、手技を支援するソフトウェアもアップデートされ、よりスムーズに治療を行うことができるようになりました。また、これまでのシングルプレーン装置からバイプレーン装置に変更したことで2方向から同時に撮影できるようになるため、撮像時間の短縮と、なにより造影剤の投与量を減らすことができるようになりました。

これにより、狭心症・心筋梗塞といった冠動脈疾患だけでなく、下肢動脈疾患の治療に対しても、より高度な医療を提供することができます。また、ハード面(機械)のアップデートだけでなく、ソフト面(スタッフ)も、患者様が安心して、高度な医療が受けられるように常にアップデートを続けて参りますので、冠動脈・下肢動脈疾患の患者様がおられましたら、いつでもご連絡ください。